横河電機株式会社
Yokogawa Electric Corporation

YOKOGAWA

SDS 一覧表

改定日:2026/04/01
作成日:2016/10/04

製品及び会社情報

製品名称: ペン

供給者の情報

会社名称: 横河電機株式会社
住所: 〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32
電話番号: 0422-52-5555

記録計用のペンまたはリボンカセットに含まれるインクなどには労働安全衛生法で規定する特定の化学物質が一定割合以上含まれています。ペンまたはリボンカセットを安全かつ適切に取り扱っていただくため、該当するアイテムの SDS の「取扱い及び保管上の注意」をお読みください

部品番号	データシート製品名	備考
B9902AM	TM510R	フェルトペン:赤
B9902AN	TM510G	フェルトペン:緑
B9902AP	TM510B	フェルトペン:青
B9902AQ	TM510RP	フェルトペン:赤紫

本書は、改正労働安全衛生法(2026 年 4 月 1 日施行)に対応しています。
また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので、いかなる保証をなすものではありません。

/以上

SAFETY DATA SHEET

提出日 2024/6/7

Section1 製品および企業情報

1-1 製品名称

製品名 / インク名称		製品名		インク名称	色
	:	TM510R	/	TM510R	赤
	:	TM510G	/	TM510G	緑
	:	TM510B	/	TM510B	青
	:	TM510RP	/	TM510RP	赤紫
	:	TM510BN	/	TM510BN	茶
	:	TM510PB	/	TM510PB	空色
	:	TM510-OR	/	TM510-OR	橙
	:	TM510YG	/	TM510YG	鶯
	:	TM510PK	/	TM510PK	桃
	:	TM510Y	/	TM510Y	黄色

1-2 物質または混合物の用途
製品説明 : 着色水溶性インク

1-3 会社情報
製造元 : 株式会社 ライト
住所 : 〒134-8642 東京都江戸川区西瑞江4-12
電話 : 03-3653-4320
FAX : 03-3653-8781

1-4 緊急連絡先
電話 : 03-3653-4320

Section2 危険有害性の要約

2-1 GHS分類
【物理化学的危険性】
引火性液体 : 分類できない または 区分に該当しない

【健康有害性】
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分2B
皮膚腐食性/刺激性 : 区分3

記載のない分類は「分類できない」または「区分に該当しない」

【環境有害性】 : 分類できない

2-2 GHSラベル要素
絵表示またはシンボル : なし

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 軽度の皮膚刺激
: 眼刺激

分類に関係しない他の危険有害性 : 飲み込むと有害である
皮膚に接触すると有害のおそれ
吸入すると有害のおそれ

注意書き
［安全対策］ : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。
: 禁煙。
: 容器を密閉しておくこと。
: 容器を接地しアースをとること。
: 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
: 火花を発生させない工具を使用すること。
: ミスト／蒸気を吸入しないこと。
: 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。
: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
: 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
: 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

［応急処置］
皮膚（又は髪）に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
: 皮膚を水で洗うこと。
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
: 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
: その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診察／手当てを受けること。
: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
: 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
: 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

［保管（貯蔵）］ : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
: 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
: 施錠して保管すること。

［廃棄］ : 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性 : 情報なし

Section3　組成･成分情報

3-1　単一製品･混合物の区別　:　混合物

主成分	CAS番号	含有量　%	官報公示整理番号 (化審法)
グリセリン	CAS 56-81-5	45.0～55.0%	(2)-242
染料	非公開	1.0～8.0%	
防腐剤	非公開	＜1.0%	
水	-----	40.0～50.0%	

Section4　応急処置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合 :　直ちに新鮮な空気の場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合 :　直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
眼に入った場合 :　直ちに流水で15分間以上洗い流し、必要に応じて眼科医の処置を受ける。
飲み込んだ場合 :　速やかに医師の処置を受ける。水で口の中を洗わせてもよい。
応急措置をする者の保護 :　救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項 :　情報なし

Section5　火災時の措置

火災に対する措置 :　水、粉末･二酸化炭素、乾燥砂、耐アルコール性泡消火器
使ってはいけない消火剤 :　普通の泡消火器
消火方法 :　速やかに容器を安全な場所に移す。
:　移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
:　消火作業は、風上から行う。
:　初期の火災には、粉末･二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。
:　大規模火災の際には、耐アルコール性の泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。
消火を行う者の保護 :　呼吸保護具を着用する。

Section6　漏出時の処置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

一般措置 :　作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
露出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項 :　流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 :　漏洩した液はけいそう土などに吸着させて、空容器に回収する。
漏洩した場所は、水で十分に洗い流す。

二次災害の防止策 :　漏洩した場所は、水で十分に洗い流す。

Section7　取り扱いおよび保管上の注意

7-1　取扱い

技術的対策 :　皮膚に付けたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。
作業場所の換気を十分行う。
静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実に行う。
安全取扱注意事項 :　密閉された装置、機械、または局所排気装置を使用する。取扱いは換気のよい場所で行なう。

7-2　保管

安全な保管条件 :　容器は密栓して冷暗所に保管する。
保管条件 :　直射日光を避け、冷暗所に保管する。
保存温度 :　高温多湿、直射日光があたる場所は避け、常温または冷暗環境下に保管

安全な容器包装材料 :　破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。
:　ガラス、ふっ素樹脂、ステンレス。
:　塩化ビニル樹脂、アクリル樹脂は使用しない。

衛生対策 :　取扱い後はよく手を洗うこと。
:　この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。
:　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

取り扱い上の注意 :　常温環境下で取り扱うこと。
:　容器のふたやキャップをしっかり閉めて保管すること。
:　取扱い時には飲食や喫煙をしないこと。保護手袋、保護眼鏡をつけること。
:　換気の良い場所でのみ使用すること。取扱い後はよく手を洗うこと。

Section8　暴露防止および保護措置

管理濃度：	設定されていない
設備対策：	取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
：	洗眼設備を設ける。
：	手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具	
呼吸用保護具：	必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
手の保護具：	手に接触する恐れがある場合、保護手袋を着用する。
眼及び/又は顔面の保護具：	眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具：	必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。
特別な注意事項：	保護具は保護具点検表により、定期的に点検する。

Section9　物理的および化学的性質

物理状態：	液体（匂いのある着色水溶液）
臭い：	あり
融点／凝固点：	情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲：	情報なし
可燃性：	情報なし
爆発限界及び爆発上限界／：	
可燃限界：	情報なし
引火点：	情報なし
自然発火点：	情報なし
分解温度：	情報なし
pH：	4.0～8.0
動粘性率：	情報なし
溶解度：	水に可溶
n-オクタノール／水分配係数：	
（log値）：	情報なし
蒸気圧：	情報なし
比重：	1.05～1.20
相対ガス密度：	情報なし
粒子特性：	非該当
その他データ：	なし

Section10　安定性および反応性

反応性：	通常の取扱い条件下では安定である。
化学的安定性：	通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害性反応可能性：	通常の取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件：	直射日光を避け、冷暗所に保管する。 40℃以上の加熱は避けること。
混触危険物質：	酸化剤、還元剤等
危険有害な分解生成物：	火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。

Section11　有害性情報 （人についての症例、疫学的情報）

製品の有害性情報

急性毒性（経口）：	情報なし
急性毒性（経皮）：	情報なし
急性毒性（吸入：ガス）：	情報なし
急性毒性（吸入：蒸気）：	情報なし
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）：	情報なし
皮膚腐食性／刺激性：	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	情報なし
生殖細胞変異原性：	情報なし
発がん性：	情報なし
生殖毒性：	情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：	情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：	情報なし
誤えん有害性：	情報なし

成分の有害性情報

グリセリン

急性毒性(経口) :	ラット LD50 = 27200 mg/kg (SIDS)
急性毒性(経皮) :	化粧品、外用医薬品などに使用され毒性が低いことから、区分外とした。
急性毒性(吸入:ガス) :	情報なし
急性毒性(吸入:蒸気) :	情報なし
急性毒性(吸入:粉じん／ミスト) :	情報なし
皮膚腐食性／刺激性 :	ウサギ 500mg/24時間 軽度
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 :	ウサギ 126mg/24時間 軽度
呼吸器感作性 :	情報なし
皮膚感作性 :	情報なし
生殖細胞変異原性 :	情報なし
発がん性 :	情報なし
生殖毒性 :	ラットの経口投与による2世代試験で、親動物の性機能および生殖能への影響、 そして生後の仔の発生指標への影響は認められていない。 また、ウサギ、ラットおよびマウスの仔の器官形成期を含む期間に経口投与した 試験で催奇形性も認められていない(JETOC) ことから、区分外とした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露) :	情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露) :	ラット2年間経口投与試験でNOAL=1000mg/kgと区分2のガイダンス値の上限の10倍の用量でも 有害影響は認められなかった。 また、ラットの13週間吸入 試験で、区分2のガイダンス値の上限を超えた0.662mg/Lの用量 で局所刺激に よる軽微な扁平上皮化生が気道(咽頭蓋)に認められたが、重大な毒性影響で なく、 そのほかの重大な毒性影響はなかった(JETOC)。以上の記述から、区分外とした。

Section12 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性 :	情報なし
残留性・分解性 :	情報なし
生体蓄積性 :	情報なし
土壌中の移動性 :	情報なし
オゾン層への有害性 :	該当しない

成分の環境影響情報

グリセリン

水生環境有害性 短期(急性) :	情報なし
水生環境有害性 長期(慢性) :	情報なし
残留性・分解性 :	情報なし
生体蓄積性 :	情報なし
土壌中の移動性 :	情報なし
オゾン層への有害性 :	分類できない

Section13 廃棄上の注意

残余廃棄物 :	廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
:	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、 または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装 :	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
:	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

Section14 輸送上の注意

国際規制	:	非該当
	:	国連分類　国連番号　　該当しない
国内規制	:	非該当
特別の安全対策	:	容器に漏れのないことを確かめ、店頭落下、損傷がないように積み込む。 に崩れ防止を確実に行うこと。

Section15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

国内法令　　労働安全衛生法	:	名称など通知すべき有害物質に該当しない
	:	名称など表示すべき有害物に該当しない
化学物質排出把握管理促進法	:	非該当
毒物及び劇物取締法	:	非該当
消防法	:	非該当
船舶安全法	:	非該当
航空法	:	非該当

Section16 その他

参考文献	:	NITE GHS分類結果一覧(2019)
	:	日本産業衛生学会(2018)許容濃度等の勧告
	:	ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2019) TLVs and BEIs.

【注意】
本SDSは、JIS Z 7253:2019に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意下さい。
本SDSの記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。
また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

作成日　:　2023/12/21